

9.自由記述

1	私は今72歳です。時代が今とはだいぶちがっていたので、答えにくかった所がたくさんありました。これからの事は若者たちの考えを出来るだけ取り入れてほしいと思います。
2	いくら男女平等といっても、男性は男性の特徴があり、女性も同等のことが言える。男性に子どもを産めと言われてもできない。いくら男女共同参画と大きな声で言うのは良いが、男は男の特徴、女は女の特徴がある限りオオカミの遠吠えになりかねない。何かにつけ認め合うということが必要ではないだろうか。家庭で普通は女性が財布を握って、実権を握っているのだから、社会でも実権を握る。女性は恐ろしいとしか言えない。女性が年をとると、若い時と違ってだんだん強くなると世間一般に言われている。男の方は小さくなる一方。あまり男女どうのこうのと言わない方が良いのではと感じる。世界の先進国等にEUはたしかに女性が活躍しているのはたしかである。が、日本は同じように持っていきたいのはわかるが、それぞれの国の事情があるので、それでいいのではないだろうか。思っていることを走り書きしましたが、日本は日本で今のような状態で良いのではないかと思います。
3	育児、介護、看護の中で働くこと、働き続けることは非常に困難であり、自分の意思とは関係なく職を考え続けていかなければいけない。常に新しいことを覚え、心身共にその都度職に慣らしていくことに大変な疲労を感じる。
4	私たちの地域では、少子高齢化が進み、毎年役員の推薦に頭を悩ましています。それで男女共同参画として女性の方をお願いして参加してもらっています。
5	男女共同参画とは本当は誰のため、何のためなのか。良かれと思ったことが逆に苦しめることになっていないのか。正規職員から非正規職員が増え、給料が減っていないのか。家事、育児、介護の上に働きに行かないといけない(給料は低く厳しい力仕事)ようになっていないのか。
6	主人が退職後の夫婦の役割分担が難しい。男がする物と女のする物を区別しすぎると思います。退職後は、出来ることを出来る人がしたら良い。女は家事をすべきだと決めつけなくて、例えば昼食は主に夫が担当するとか、妻の負担を軽減できるように夫婦で話し合う必要があります。妻に先立たれ、困らないようにする為にも夫も家事全般が出来ることが必要だと思います。その時は、なんとかなると思っていたらまちがいです。年を重ねたらお互いに平等にいたわり合うことが最大限の思いやりです。
7	私たちの時代と今の若者たちとは考え方がちがうと思います。
8	今住んでいる地域では、地区の奉仕作業で女性が出た場合「出不足」として、お金をささなければいけません。男の人が出たらお金は払わなくてもいいのに、おかしいなと思っています。(欠席して払うのは納得しますが)労働力はそれほど変わらないと思うのですが、それを口に出すと地域の中で浮いてしまうかとも思いますが言い出していません。(私も含めて)まだまだ男社会だなと思います。そんな矛盾したことは、社会にたくさんあるのではないのでしょうか。それらを行政が整理してもらい、自治会長さんなどから変革を呼びかけてもらうといいなあとと思います。社会全体が女性は子育てという意識が根強いです。特に「伊賀市は」私は多胎妊娠で双子を育てていますが、子育ては女性という意識が強いです。特に子どもが小さい頃は大変でした。それらが無償で助けてもらえる制度があればよかったと思います。

9	個人は組織には勝てないので、企業や役所など組織の意識を変えていくことが必要だ
10	妻が出産したとき、育児休業がもらえず退職するよう言われ手当てもなく、生活が苦しくなりました。仕事をはじめて1年未満である理由でしたがたとえ少なくとも手当てが入り、たとえ半年でももらえて仕事に戻るならありがたいなと思いました。子どもができ、想像以上にお金はかかるし、僕自身も休みは1日もなく仕事をしても追いつかない現状です。その会社からすると休んでてお金を払わないといけないし、保険代など考えると退職してもらった方がいいのは分かりますが、本人はこれから頑張ろうとしていたのにというのもあるので、1年未満であろうが育休を与えられる社会をつくるよう、考えていけたらと思います。
11	各地区の役員等にも女性を起用したりして、もっと女性の意見が反映されるようにすべきだと思う。そういう時は長老さん等の「女のくせに」は禁句。まだまだ女性軽視だと考える。
12	男性、女性だけで差別することは良くない。能力によって適切な仕事につけるように雇用主の配慮を希望いたします。
13	〇〇委員の定数の半数を女性にするという数字合わせではなく、男女に関係なく個々の能力を評価していくことが大切。女性ならではの考えでと言いつつリーダー的立場の人は活かすが、それで女性部を作っても、結局女性部は食事づくり、袋づめなどの作業をするのみ。女性部はなくすべき男女関係なく同じ作業をすることが大切。
14	地域の年配の男性の考え方は、以前と同じ女を下に見ているように感じられます。集会等で女性が出席して意見を発表すると男性たちの女性を見る目がちがうように感じられます。こういうのって地域の格差でしょうか。
15	地方によっては、まだまだ男女が平等になるには、時間がかかる気がします。年令の高い方ほど理解が難しいと思われれます。
16	それぞれの家庭によって考え方が違うところもあります。育児休暇を男性がとれるような社会がいいとされている傾向ですが、考え方によっては「働いてもらう方が助かる」という人もいます。なので、「男性が育児休暇をとってもいい」くらいにしてもら方がいいと思います。「取らなければ父親としてどうなの」って考えにならない方が母親としては安心します。育児の時、してほしいこと、まかせてほしいことは人それぞれでその内容は家族で話すれば解決します。必要ないつでも取れますくらいが気が楽な気がします。
17	家庭では女性が強いですが、社会では男性が強い、男女平等とは言うものの、まだまだです。考え方を変えないと日本は世界から遅れる一方です。残念です。また、このままだと離婚も増えていくでしょう。
18	小さな子どものいる家に必ずつきものなのが、子どもが急に熱を出して会社に仕事を休ませてほしいと電話をしなくてはならないということ。妻もよく子どもが熱を出したとき、会社に電話するの嫌やって言っている。それは女・男関係ないが子育てしていく中で企業が小さな子どもがいる人を雇う際に、気持ちよく雇い、急な病気に対応できるように配慮し、急に休むことを連絡することを躊躇しなくていいように、小さな子どもがいる人を雇っている企業を市や国が応援してほしいと思う。そういった母親を雇っても企業が利益、税の免除などを受けられるようにしたら、子どもを育てながらも働きやすくなると思う。

19	<p>まず「男性」「女性」を意味する男女共同参画という言葉がすでに男性と女性を分けている表現であると思う。「男」という文字と「女」という文字をスローガンとして使っている時点で既に「男と女は別ですよ」と言っているようなものである。根本的なものを教えるならば、義務教育の時点で「人は人生を豊かにするためにいろいろな事を体験し、出来ること、参加することが大切である」ということを大まかな考えとして教育することが良いと思う。いろいろな事とは仕事、家事、介護を含めた生活、人生にかかわるすべての事柄を意味する。「何でもできること」が他人に共力、協力する機会を与え、他人の不足の部分を補える力となりうると思われる。できない者は助けることもできない。できなければ出来る者に仕事や負担をおしつけてしまう。できる者がやるしかないのだ。若い時点で個々のできる能力を上げることが他を助ける者を増やすこととなり、個の負担を軽くすることにつながり、個の心と体に余裕をつくり、社会や世の中に対する男女の不満を軽減させることにつながる。義務教育で生活、生きることに関係する教育を増やすべき。</p>
20	<p>伊賀青山に来て30年になります。14.5年前からパートの仕事をやりはじめ仕事上での男女差別などはあまり感じることはありません。それ以前は子育てをしながらの社会との関わりの中で、男女差別を考えると、地域の自治会など役員の中に女性がほとんどいないというのを思いました。それでは、自分が自治会の役員をやれるかという、実際夜の会議に出ていくことの大変さを思えば役員など進んでやれないと思う。子どもが大きくなり6市町村合併前のまちづくり委員を4.5年しましたが、とても大変でした。女性が出ていくにあたって、家事をほうって出て行っても、夫や子どもたちができているかどうかで、大変さが違うと思いました。これからの時代、だれでも家事を学んで誰でもやれるよう家庭で学んでいくことが大切ではないかと思えます。</p>
21	<p>特に昔の人(年寄)は女の人を下に見ているので、一緒に働いていて態度や言動に腹が立ちます。若い世代の方がよっぽど理解しています。会社などの採用担当など役員などいろんな権限を持つうえの世代への意識改革を求めます。3歳の子どもを育てながら、パートで働いていますが、子どもの体調不良で休めば「これだから女は」と言われ、無理をして会社へ行けば「子どもがかわいそうに」と言われ、主人に子どもを頼んで仕事へ行けば「旦那さんかわいそう」と。もっと女性がおもいきり働ける日が来るとうれしいです。</p>
22	<p>古いしきたりや男が上、女が下という考え方を変えない限り、日本は変わっていかない。法律や目標値を設定すべき。だいたい女性が天皇になれないところからおかしい。そこが変わらない限り、共同参画はありえないと思う。あと、家庭教育から変わっていかなくては、次の世代まで同じになってしまう。</p>
23	<p>夫婦共々、地域の役を引き受けるのは無理があるように思いますが、私たちの上の世代の老人も家にいる方も多いため、子ども世代の60~70代は大変です。</p>
24	<p>社会的に男と女として区別は考え方が違うので難しいと思うが、人間として共同はすべきだと思う</p>
25	<p>賃金や収入金額も大きく関係してくることもあったりで、評価だけでは解決できないことも多いと思います。活動の継続が必要と思っています。</p>
26	<p>男女の人権の尊重を基本としながらも、家庭生活においては男だから、女だからではなく、お互いが思いやる心、出来ることはできる者がやる。それが大事かなと思います。社会においては、女性も男性も一緒に平等に活躍できるよう、能力ある者には機会を与えるべきだと思う。</p>

27	男女共同参画の理念について、共感はできますが、やはり男女の身体的、心身的な違いは間違いなくあるわけで、全く平等を求めるのはおかしいと思います。男だから、女だからというのではなく、個人が大切にされる社会になるとよいです。まだまだ年配の方にはそうした意識を持たない方もいて、子どもたちに刷り込み的な発言をするのを目にすることがあるので、小さいころからそうした意識が間違っていることを教育することも大事だと思います。
28	身近にシングルマザーで働きながら保育園に預けている人がいますが、時間外保育がないので、残業をしたくてもできない様子。そういう施設があれば助かるのにとと思います。
29	「男性も女性も意欲に応じてあらゆる分野で活躍できる社会」に。共働き夫婦の家事分担事情、若いご夫婦は二人で分担しているようですが、我々高年齢夫婦は主に妻がしている家庭が多いと思います。これからの夫婦共働きは、仲良く分担お互い活躍できる社会に近づいていってほしいと思います。皆様のご活躍を心より応援いたします。また、今年は初めて映画や講演会に参加させていただきとても楽しかったです。お世話になりありがとうございました。感謝、感謝です。
30	男女共同参画といっても日本の国は女性をどこまでこきつかうつもりだ。と思っています。いくら制度を見直しても男性の考え方が変わることは脳の作りが違うのだから根本的にないだろう。女性が社会に出ることによって女性の負担が増え、男性のストレスも増える。男女とも今の若者たちはストレスでうつ（精神的）につらいだろうと思っています。男女平等（女性に社会で働いて税金を納めろ）というなら政治家の半数は女性という法律を今の政治家が作ってくれば少しは変わるかも。（政治家も教授も市の役員もすべて上に立つ者はずっと昔から男性だ。）
31	生まれてからずっと伊賀市内に居住していますが、（勤務先も含め）「男女共同参画」という言葉を広報以外で見聞きした覚えがありません。わざわざ市の主催する研修に出向くなんて考えられませんので、ぜひ企業に向けて啓発をと思います。少しでも理解が深まり、男女平等の社会に近づくよう祈っています。
32	自分の年齢で回答となると難しい面がありました。家族を助け、健康でいるのが一番だと思って動き回っています。男女共同参画で男女ともに発言できる時代です。お互いを助け合って進んでいければいいですね。
33	天は人の上に人を創らず人の下に人を創らず、というアメリカ独立宣言文書にもある通り、人は皆平等であり差別や虐待、いじめなど決してあってならないことであると思っています。男女共同参画意識調査をなさるといことはこの社会、まだまだ男女平等ではないというのが実感ではないでしょうか。まずは男女の賃金格差を平等になることから始まると思います。北欧諸国の社会状況をご参考になさってはいかがでしょうか。
34	皇室でも男女差があるうちは、国民の意識も根本的には変わらないと思います。

35	<p>我が国の社会生活での基本的な重要課題は①少子化高齢化に歯止めをかけること②環境負荷の低減を図ることと考える。約3年前、岡本市長が私の所属する住民自治協議会に来て、男女共同参画について説明されたときに質問をしました。「男女共同参画の推進と少子化の防止は両立しますか」と、岡本市長の答えは両立しますとはっきり言われた。市長の立場としてはそういわざるを得ないでしょう。しかし、私はその答えには無理があると考えています。男女共同参画(女性の職場進出)を推進することにより、結婚しない女性、婚期が遅れ出産を一人程度に抑える女性が増え、ますます少子化に拍車がかかるのが現状であると考えます。「男女共同参画」というかっこよい言葉を前面に出すのではなく、子育て支援等の諸条例などの整備を図り、その浸透を確認した上で謳ってほしいと考える。また、諸々の施策を進めるうえで、市役所はPDCAのPだけを考え、DCAは市民または住民自治協にふって仕事をしたような気分ているように思えてならない。市職員も最後までPDCAを回して、初めて成果を確認できるのではないかと。Pだけでは絵に描いた餅で終わることが多いのではないかと。</p>
36	<p>強制力を伴うパリティ法の制定、実施。(現在のパリティ法には強制力がない。処罰規定がない。)ヨーロッパのように、「残業のない社会」のための法規制。現在の「働き方改革」は「会社の命じるままに何時間でも残業しろ。だけど残業代は1円も払わない」という「働き方」を推進するものであって、断じて許されない。「男も女もみんな働く。定時になったら一斉に退社する」ということが制度的に担保されれば、家事・育児においてもその他あらゆる面においても「男女平等」が進む。今みたいに「月に1回、ノー残業デー」などということをやっていたら、1000年たっても日本社会は「江戸時代」のまま。「おかみにたてつくなんて、めっそもない」「女のくせにでしゃばるな」「夫は大黒柱」などという、江戸時代まる出しのメンタリティを日本人の多くが今も強固に保持している。若い人たちも同様。</p>
37	<p>男性にも家事、育児など手伝ってほしいですが、まだまだ一般的な会社では簡単には休みも取れません。休んでもらっても出勤したら、仕事が山のように残されていると思うと、休んでもらうのも申し訳ない、女が頑張るしかありません。サービス残業もまだ実在します。会社そのものの考え方が変わらないと無理です。女性は女性で、都合の悪い時だけ、女だからと言い訳することもあるので、難しいので分かりません。</p>
38	<p>地域活動の中ではまだまだ男が役割を担っている。悪く言えば、女性を前に出さない。女性は前に出ない。女性の活躍の場をうばっているように思うし、男性にも負担が大きい。もっと50:50になれば互いに楽になり、社会がうまく循環するように思う。もっと言えば、互いに押し付け合っているように思う。身近な生活の中から考えを改めたり、意識しなければならぬと思う。高齢者70歳以上くらいの方々には難しいように思う。</p>
39	<p>法律や条例を作ることも大事だが、それができれば終わりでは机上の空論となる。いかに浸透させるかが問題で今回のアンケートを取ったのではと思うが、独身者の場合は男女共同一条件で仕事をすれば良いと思うが、家庭となるとどちらかが犠牲にならないと家庭が回っていかない(経済面、介護・教育等)対策としては、会社、社会、学校等が同じ方向で協議していかないと解決しない気がする。</p>

40	<p>人生を自分なりに精一杯働き子どもを一人前に育て、両親を介護して送り気がつけば自分が介護されかねない年齢になっていました。人生山あり谷あり、うれしい事、つらかったことすべて生きていく上でさけて通れないことです。何事にも家族の協力が、地域の活動への参加、みんな人生です。私は何事にも精一杯努め、人生を貫きたいと思っています。これは私を産んで育ててくれた両親、家族そして地域の人への自分に出来る恩返しであると思います。このようなアンケートをいただき70歳を超えた私も改めて自分の立場を考え日々の生活を経験とこれからくる未知の将来のために過ごしていきたいと思っています。ありがとうございました。一人ひとりが目の前のことを考え、協力していけば素晴らしい伊賀市が見えてくると思います。その1人として今から歩いていきます。</p>
41	<p>伊賀市役所内での女性の地位等、平等な組織として機能していけるか検証したうえで、地域社会に強く働きかける。そうでなければ人はついていかない。立派な制度を作っても動かなければ。</p>
42	<p>行政の考え方がそもそも男女共同参画について、本当に理解しているのか疑問に思います。実際に地域活動や高齢者のボランティア等に参加しているが、そこで目の当たりにする行政(市の正職員)の言葉や態度に驚くことが度々あります。上辺だけ、男女平等、共同参画など市として事業として市民に啓発している、市の職員の方の考え方や態度がそれではいかがなものでしょうか。実際に研修や勉強会など数多く実施されているようですが、どれだけの職員の方に周知?浸透?しているのか、市としてどう把握しているのでしょうか。本当の意味で男女共同参画の考えを広めたいなら、まずは内側から(行政の中)変えてほしいと思います。それと田舎の会社の中では同じ正職員でもやはり男性が優遇されていることが多いです。会社が男女平等とうたっていても、現実とは違います。根本から改められる活動をぜひ行政には考えてほしいと思います。</p>
43	<p>このアンケートにそぐわない内容です。本来ならすべての質問に応じて回答記入方式にすれば当事者の叫びや心の面が聞こえてくると思います。画面的に捉えて処理する意識調査アンケートであれば今後は辞退します。形だけの調査は無用です。今は女性ではなく「人間差別」が起こっている時代です。若者の声(20代)からは高齢者を「役立たず」、障がい者を「害」と言った人間が周囲にいました。自分のやること、言うことすべてに「自己責任」があることを知らない方が多いです。「よりよい社会」とは人間自身が豊かになっていかないと解決するはずがありません。どんな境遇に立っていても「人」として生きているのかの確かさがなければどんな計画にもゆがみが生じてきます。「はじめることは簡単でもやめることは難しい」例えば市長が街頭調査をする等すれば伊賀市のスローガンも生きてくるのではないのでしょうか。</p>
44	<p>「基本計画」策定の為の基礎資料とするには、設問そのものの不十分さが気になります。「意識調査」そのものが営利事業にならないよう願います。</p>
45	<p>男女差別はあってはいけないと考えるが、男女の区別があるのは当然だと思う。男女それぞれの特性があり、その強みを活かせばよいと思います。近年の男女の区別や各個人の特性を無視した誤った平等意識が強すぎる世の中になってはいないのでしょうか。逆にそれをどう考えて、そうなるのか。女性専用とかレディースデーのようなサービスを充実させるように。男から見ると差別を受けていると考えてしまう部分もあると思う。男女とか性別にこだわらない各個体に応じた生活が出来ることが望ましいと思うので、こういったアンケートを取ることで自体が差別的な考えからではと思いました。</p>
46	<p>成果をどう捉え、どう発表しているか。外から見ていると、共同参画を形だけでやっているように見える</p>
47	<p>男女共同参画って何?わけがわからないまま意識調査されてもって感じです。まず男女共同参画についての広報など強化すべきではないでしょうか。</p>

48	アンケートの内容が男・女の固定観念に基づいて偏ったものではないですか。今はマイノリティかもしれませんが、共働きで男性が家事等のほとんどを行っている家庭もあります。
49	このアンケートは自分(男女とも)の個人の言葉なのに、人頼みの言葉のように思う。男はもっとしっかりして、女性がいい人間を残していくように、100%女性を支える考えを持って生きていかなければならないと男の私は恥ずかしく思います。女性も男を選ぶときに、選んだ男は自分の責任であるので子どもができて自分一人でも育て上げる自信をもって男を選んでほしいと思います。自分の責任ですよ。
50	学生で一人で生活しているため、記入欄について回答しにくい部分があった。
51	よくわかりません。難しい言葉だと思います。
52	共同参画自体の意味が分からない。どう言った仕事か。詳しく知りたい。
53	アンケートには答えましたが、そもそも男女共同参画が何か分からない。広報などに書いてあってもさーっとみただけでわからない。もっとみんなに認識されるように考えた方がよい。税金を使ってやっているのでもっと意味のあるものにしてほしい。この調査をして基礎資料にしてからどうするのですか。形だけの調査だけやって終わり?
54	男女平等と言っていますが、最近では女性の方が優遇されているように感じます。その理由は電車です。冤罪であっても女性が痴漢っていえば男性は警察に連れていかれ、何日も監禁。では、逆の場合、女性が男性に痴漢したら?ただ男性はバカにされて終わり。この差はなんででしょう。今の日本は変な法律ができて弱い人を守る為ならいいですけど、偏った法が多く感じます。
55	私は男と女は平等とは思えない。なぜなら体がまず違う。だからおのずと役割は違ってくる。それらを社会全体が認めることが大事であると思います。社会が女性が子どもを産み、育てることをつとめてお金をかせいだことよりも、下とみなす社会であるから、このような問題が生じるのです。子どもが生まれ、次の世代を担う子を育てることの大切さを社会がもっとわかるべきである。女も働いてかせがないと、地位が低いから働く。だからしわ寄せが子どもにいき、今のようないまわしい事件の多い世の中になるのです。男と女の役割分担でお互いがお互いを尊重しあわなければ、おかしい考え方になります。母が家にいて、帰ってくる子どもの様子をしっかりと見守ることの社会にとって重要性が、今の社会はまったくわかっていない。共同参画とは、女性の重要な本来の役割をもっともっと社会が認めることだと考える。
56	女性に参加を依頼しても断られることが多い。地域での活動の場にて、女性の積極的な参加要請を行っていく
57	男女平等と言っても、体力的には男の人の方があり、重たいものは男の人に頼ってます。
58	最近、羨しく言われておりますが、最近女性は強くなって実質的に権力を握っておるのは女性だと思いますが。
59	女性側も「甘え」を持たない考え方、いざとなったら「女性」を武器にしない。責任も同じようにとらなければなせないことを自覚し「共同参画」を進めるべきと思う。
60	男性には男性としてのできる事、女性は女性しかできないことがあり、男女のたりない部分をおぎないあい、人としての平等を望んでいきたいと思う。

61	<p>伊賀市は、女性が強いしきついと思うが、それは家庭内のことは女性がしきっているからだと思う。昔の家制度のような意識が根強くて、家長になる長男がみんなの面倒を見るかわりに、権利意識も強く偉そうだと感じる。力のいる外向きの仕事(田畑の管理、自治会、寺、神社、出会い、消防など)が田舎にはたくさん残っており、男性はそれらを担うかわりに家では自分の好きなことをしているという印象。</p> <p>農業や地域自治が廃れた都会では男性に外向きの用事がないので男女とも家の中に目がいきやすいだけで、要はどこで大きな顔をするかの違いだと思う。女性は家に居ることを期待されているのに社会的な責任まで大きくされるのではたまらぬという感じ。伊賀市の都市化レベルでそれを求められるのはつらいので、男女というより社会的・家庭的能力に応じた参画にもらったほうが、個人も社会も迷惑しなくても良いと思う。</p>
62	<p>被災者の安全確保、仮設住宅、住むところの確保、自己防衛の方法を広める。大人も剣道、なぎなたなどやりやすいように。柔道、空手、合気道。</p>
63	<p>年齢がたって、学校教育、社会教育に参加できる年令でなく、ただ余生を無事に過ごせるよう願っています。我々は、車に乗れないので、名張の方へ買い物とか病院の通院にはタクシーを使用しなくてはいけませんが、そのタクシーも最寄りの駅ではないので大変困っています。</p>
64	<p>伊賀市はこの数年の間に日本文化が日に日にこわされていくのが目に見えているのが不安である。伊賀市行政はもっと市民の声に耳をかたむけてはどうか。</p>